「協働のまちづくりモデル事業」実施集落・町内会募集！！

～みんなで話し合おう！　地域の未来～
～みんなで行動しよう！　将来の地域づくり～

◆協働のまちづくりモデル事業とは？

南砺市が進めている市民と行政による「協働のまちづくり」の実現に向けては、自ら考え、自ら行動する住民組織の存在が不可欠です。

この事業では、住民に最も身近な集落、町内会や自治会において、自ら実践する地域づくりの機運を高め、住民自治活動の充実強化を図るため、ふるさとづくり計画の策定と、この計画に基づく事業実施に対して市が支援します。

◆対象地区（集落、町内会・自治会）

市内３５４の集落、町内会や自治会を対象とし、また、これら複数の地区の集合体でも対象とします。（ただし、既に採択済みの地区は対象外とする）

◆事業の内容

事業は４ヶ年の継続事業とし、第１年目（平成２７年度）は計画策定事業を行います。第２年目から第４年目（平成２８～３０年度）の３ヶ年は計画に基づいたまちづくりを推進（事業実施）します。

◆対象事業

支援対象事業は次のとおりです。

ただし、市が実施する他の補助事業に該当しない事業とします。また、従来から実施している事業も対象としますが、その場合は、より発展的な計画であることを条件とします。

(1) 集落の防犯、防災、福祉など、「安心・安全な地域社会形成事業」
(2) 地域資源を活かしたコミュニティビジネスなどの「産業振興事業」
(3) 伝統文化の保全や復活などの「文化振興事業」
(4) 少子高齢化の対策に向けた「定住等促進事業」
(5) 地域資源を活かした「まちづくり事業」
(6) 環境保全、美化、エコなどの「地球にやさしいまちづくり事業」
(7) その他、「地域の活性化を図る事業」

◆支援内容

市は、次のとおり支援します。

① 計画策定事業（第１年目、平成２７年度）

・「ふるさとづくり計画」策定費として、１地区あたり計画策定に要する経費（補助対象経費）の１００％（上限 10 万円）を補助します。

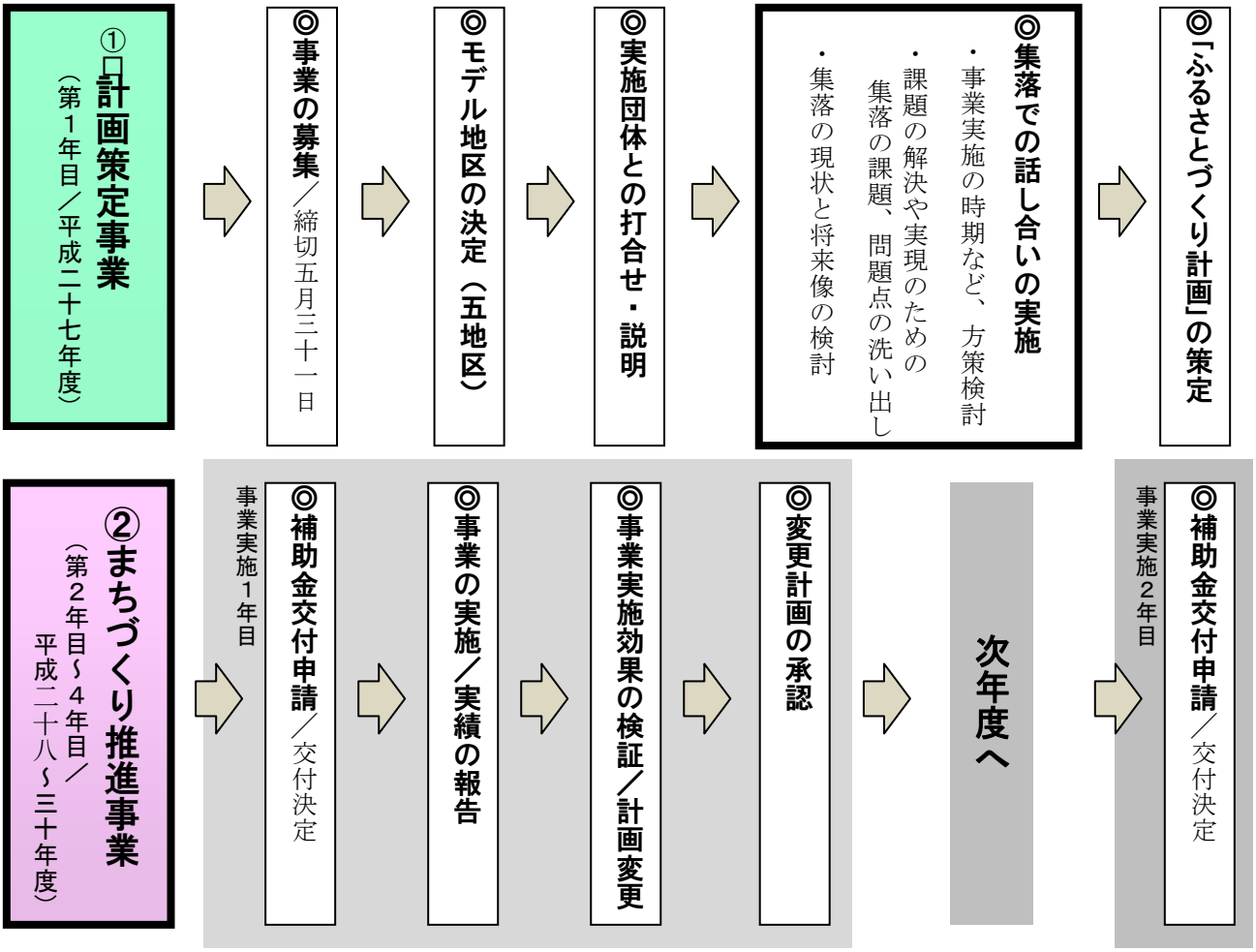
② まちづくり推進事業（第２年目から４年目、平成２８年度から３０年度）

・第１年目に策定した「ふるさとづくり計画」に基づき実施する事業に対して、各年度の事業に要する経費（補助対象経費）の８０％（上限 30 万円）を補助します。
・各年度、交付申請書及び実績報告書を提出していただきます。

◆募集地区数

平成２７年度：５地区程度
（平成 21 年度実績９地区、22 年度実績１０地区、23 年度６地区、２４年度３地区、２５年度実績２地区、２６年度１地区各々採択済み）

◆事業の流れ



◆応募方法・問合せ先

・事業実施採択申請書を<u>５月３１日（日）</u>までに、市民協働課へ提出してください。
・問合せ先：南砺市役所　市民協働課　市民協働係　担当：石崎（いしざき）
南砺市協働のまちづくり支援センター内（井波コミュニティプラザ「アスモ」２階）
TEL：23-2036　FAX：82-0170
◆午前１０時～午後９時まで開／休館日は毎週火曜日と第４月曜日◆

平成 27 年 4 月 16 日

協働のまちづくりモデル事業（自治会・集落・町内会） 説明資料

１．事業採択申請書の提出について

提出期日：平成２７年５月３１日（日）

２．審査について

日程：６月中旬審査、審査日翌日に結果発表

３．事務説明会について

採択された団体を対象とし、補助金交付申請および実績報告書の説明を６月下旬に開催

４．補助金交付申請書の提出

提出期日：７月中旬

５．補助金交付決定、補助金の交付について

交付決定日：７月中旬を予定

補助金交付日：７月下旬頃、100％概算払い

６．事業採択申請書の書き方について

補助対象外のもの：飲食費（ただし、会議時のお茶や菓子代は、年間 5,000 円まで補助対象）
食材費（ただし、料理教室の材料代は補助対象）
団体構成員の人件費や講師謝礼

※備品について、備品購入のみは不可。ただし、３ヵ年計画を実行するのに１年目に備品が大量に必要など特殊な場合は補助対象とします。

７．応募資格について

・町内単位となりますので、町内の総意が大切
・自治振興会単位での申請は不可
・町内会長が変更となっても、本事業代表者は変わらない

８．その他注意事項

①補助金交付決定日（７月中旬）以前の事業実施およびそれに対する支出は補助対象外。
②繰り越しは認められない。３ヵ年事業であっても、１年ごとに会計処理すること。
③補助率は８０％　補助金上限は３００，０００円
つまり、３７５，０００円以上の補助対象事業で満額３００，０００円の補助
３７５，０００円×８０％＝３００，０００円
７月下旬に３００，０００円を全額概算払いするため、３７５，０００円に満たない場合は、後に返納。
④事業実施中、申請時の計画から大きく変更が生じる場合は、必ず市民協働課に相談すること。
⑤他事業補助との併用は認めるが、まちづくりモデル事業分と他事業分の事業費を明確に分けること。
⑥まちづくりモデル事業実施中のまちづくりチャレンジ事業への移行は不可能。
⑦事業採択に向かって、実施中の期間において、どんなことでも市民協働課に相談すること。

９地域づくり成功のポイント！

①地域の課題と解決方法を明確に示し、地域内で共有することが大切です。

②数値目標は必ず設けること。そして実現すること。成功、失敗はありません。

③地域のみなさんが、まちづくりを楽しむこと。

MEMO

■問合せ先■：南砺市役所　市民協働課　市民協働係　担当：石崎（いしさき）

このアドレスへお問い合わせを！　→　ishisaki.hiroko@city.nanto.lg.jp

〒932-0231　南砺市山見 1739-2 南砺市協働のまちづくり支援センター

TEL：23-2036　FAX：82-0170

◆午前１０時～午後９時まで開／休館日は毎週火曜日と第４月曜日◆

南砺市「協働のまちづくりモデル事業」
（集落・町内会及び自治会）
事例集

◆協働のまちづくりモデル事業とは…？

南砺市が進めている市民と行政による「協働のまちづくり」の実現に向けては、自ら考え、自ら行動する住民組織の存在が不可欠です。この事業では、平成 21 年度から住民に最も身近な集落、町内会や自治会において、自ら実践する地域づくりの機運を高め、住民自治活動の充実強化を図るため、市が支援してきました。

◆対象団体等

市内３５５の集落、自治会、町内会です。（複数の地区の集合体でも対象となります）

◆事業の内容

事業は４カ年の継続事業です。第１年目は、計画策定を行い（100%補助、上限 10 万円）、第２年目から４年目の３カ年は、計画策定に基づいた事業の推進、実施をいたします。（隔年 80%補助、上限 30 万円）

◆対象事業

支援対象事業は次の７項目のいずれかをテーマとします。

(1) 集落の防犯、防災、福祉など、「安心・安全な地域社会形成事業」
(2) 地域資源を活かしたコミュニティビジネスなどの「産業振興事業」
(3) 伝統文化の保全や復活などの「文化振興事業」
(4) 少子高齢化の対策に向けた「定住等促進事業」
(5) 地域資源を活かした「まちづくり事業」
(6) 環境保全、美化、エコなどの「地球にやさしいまちづくり事業」
(7) その他、「地域の活性化を図る事業」

事例1 ふるさとの森　真向山再生事業＜実施団体：土山自治会（福光地域）＞

平成２１年度から事業を始め、２４年度にて事業を終了した土山自治会では、地域資源である真向山頂上周辺を里山レクリエーション地帯にと、地域住民が一丸となり環境整備を行いました。

事業のテーマ	⑥環境保全、美化、エコなどの「地球にやさしいまちづくり事業」 ⑦その他「地域の活性化を図る事業」
地域の現状と課題	・著しい過疎化（在住戸数が最盛期の４割減）、高齢化への対策 ・将来に渡る活動の継続、発展のために、青年層を中心とした活動が必要 ・活動資金の確保や幅広い PR 活動
事業の内容	＜H22 年度＞炭焼体験教室、林内草刈り、展望広場整備、地域マップ設置準備、里山再生会議の実施　など ＜H23 年度＞ゆり畑の造成、きのこ植菌教室、散策道の整備、炭焼き教室の実施など ＜H24 年度＞巣箱設置、林内草刈り、散策道の整備、炭焼き体験教室、地域マップ設置など

真向山頂上に休憩場「六角堂」を地域住民の手作業にて建設。周辺にはツツジを植栽し、憩いの場として整備

事例2 ふるさと院瀬見の再発見活動＜実施団体：院瀬見自治会（井波地域）＞

平成２１年度から事業を始め、２４年度にて事業を終了した院瀬見自治会では、豊かな自然と先人達が築いてきた文化を守り、愛情と誇りの持てる地域づくりを進めるため、親子獅子舞共演会やふるさと講演会の開催、ふるさとマップ「ふるさと探訪帳」の作成などを行いました。

事業のテーマ	③伝統文化の保全や復活などの「文化振興事業」 ⑦その他、「地域の活性化を図る事業」
地域の現状と課題	共同体の機能を維持しているが徐々に高齢者が目立つようになってきた。平均年齢 49 歳、60 歳以上だけの世帯数が 20 軒、55 歳以上が 48%を占め準限界集落に近づきつつある。 地区内の各種団体と連携した活動で地域を掘り起こし、住民が誇りと自信の持てる積極的な地域づくりが必要。
事業の内容	＜H22 年度＞伝統文化の継承、郷土の歴史調査、歴史探訪コースづくり、ふるさとマップ作成、桜まつりの開催、景観保全活動など ＜H23 年度＞ふるさとマップ作成、桜まつりの開催、里山を歩く会の開催、親子獅子協宴会の開催、景観保全活動など ＜H24 年度＞桜まつりの開催、大寺山登山の開催、記念シンポジウムの開催、屋外看板の設置

ふるさと講演会の開催

ふるさとマップ「ふるさと探訪帳」

ふるさとマップの野外看板の設置

事例3　棚田の復元と棚田を活用したまちづくり事業

＜実施団体：楮集落（上平地域）＞

平成２１年度から事業を始め、２４年度にて事業を終了した楮集落は、昔ながらの石垣（石積み棚田）が見られ、昔ながらの農村風景を残している集落です。集落共同で棚田や石垣の補修整備を行い、棚田のライトアップや赤カブ栽培の体験活動などのイベントを行いました。

事業のテーマ	⑥環境保全、美化、エコなど「地域にやさしいまちづくり事業」
地域の現状と課題	農作業の機械化が進み、昔ながらの棚田は休耕・放棄されているのが現状である。いくつかの世帯は畑として耕作しているが、休耕しているところは石積みの一部が欠落し、また草木により棚田の面影はほとんど見えない。上平地域で唯一残された棚田景観の保全と.その活用による元気な地域づくりを求める声が住民から挙がっていた。
事業の内容	＜H22～２４年度＞ １．荒れた田を集落で整備し、昔ながらの石積み棚田を復活する ①集落共同で、棚田の雑木の伐採、除草を行う②崩れた石垣の補修（土木系高校・大学に体験学習を兼ねて依頼）③整備された棚田に作物（花など）を植える ２．棚田を活用したまちづくり ①棚田のライトアップ（花の見頃時期やイベント時）②毎年開催している夏祭りを「棚田祭り」に名称変更③棚田を利用した体験活動など（アサツキ、赤かぶ、みょうがなど）

集落内外の方々と棚田の石積み修復作業→修復後の棚田を活用した「赤カブ体験会」→収穫した赤カブの料理教室→集落全員での収穫際

事例4環境保全・美化による地域活性化の構築事業

＜実施団体：竹林北島自治会（福光地域）＞

平成 22 年度から事業を始め、現在継続中の竹林北島自治会では、子どもから高齢者まで、地域住民全員が元気で生き生きと暮らして行けるような自治体を目指し、枝豆などの農産物の生産・販売を通じて、住民交流の場を創り地域の活性化を図っています。

事業のテーマ	⑥環境保全、美化、エコなどの「地球にやさしいまちづくり事業」 ⑦その他、「地域の活性化を図る事業」
地域の現状と課題	高齢化に伴い、自治会会議出席者の減少や婦人会員の減少など、交流の場面が減少し、自治会運営にも問題が生じている。この課題に対し、年間を通して自治会全員が共通の目標を共有し、自らが取り組むことが必須である。
事業の内容	●景観植物（レンゲ、クローバー）の栽培　・水田の景観の充実を図る。 ●野菜（白菜、枝豆）の栽培　・高齢者にも参加できる軽作業中心の工夫、休耕田の活用 ●食の感謝祭の開催・高齢者からの野菜栽培技術等の伝授により地域の活性化を図る。

←地域住民が集い、枝豆の収穫作業

枝豆の袋詰め終了、出荷→

協働のまちづくりモデル事業実施団体一覧　30団体

（平成21年度採択：H21～24）

No.	地域	校正自治会数	実施団体名	代表者名	事　業　名	主な活動内容
1	福光	1	土山自治会	青木　幸政	ふるさとの森　真向山再生事業	地域の里山である「真向山」の環境整備、展望台の設置、都市との交流事業や各種体験事業
2	平	1	大島まちづくり事業	丘村　哲夫	協業による手仕事ビジネス展開事業	若者から高齢者まで地域全体で手作業を中心とした特産加工（わら細工やみょうがやそばなど）の生産・出荷
3	福光	1	ふくみつ新町町づくりの会	川合　声一	『小さな町の物語』魅力構築事業	町内の歴史や文化、先人方の偉業をまとめた冊子づくりや町内での朝顔街道イベントなどの実施
4	上平	1	楮地区	中井　昇	棚田の復元と棚田を活用したまちづくり事業	荒れた田を集落で整備し、昔ながらの石積み棚田の復活、棚田のライトアップ、棚田を活用した体験事業など
5	井波	1	院瀬見自治会	松田　博志	ふるさと院瀬見の再発見活動	地域資源を活かした活動や伝統文化の継承活動として、獅子舞やエドヒガン桜の保全、道宗道を歩く会などのイベント実施
6	福光	1	西島自治会	山道　淳一	高齢者と共に「菜種油」生産事業	高齢者の地域活動参加として「菜種油」の生産事業を行い地域のコミュニケーションを図る
7	平	7	小谷地域協議会	南田　実	小谷地区の将来を担う地域おこし	山菜類の利活用として、うど、エゴマ、ミョウガの販売促進や新規栽培品目の開発、山菜まつりなどのイベント実施
8	福光	1	山田自治会	岩村　晃	国道304号線沿　花壇美化事業	地域内を走る国道304号線沿の花壇整備
9	城端	1	細野集落	松崎　實	里山循環型社会の構築事業	ソーラーエネルギーを活用した夜間照明の設置。エゴマ栽培、花樹類の植栽、養蜂場の準備などを実施。

（平成22年度採択：H22～25）

No.	地域	校正自治会数	実施団体名	代表者名	事　業　名	主な活動内容
1	城端	4	北野地区4集落	沖田　光弘	北野ふるさと再発見事業	地域活動の拠点である北野公民館を中心にマラソン大会や講演会などのイベント開催や「北野地区散策マップ」の作成
2	利賀	1	坂上地区	米澤　正好	坂上ふれあいでつなぐ散策道整備事業	地域資源である「ふれあいの森散策道」を、住民の手により整備し、手作り看板への取換修繕、地域マップの作成などを実施
3	福光	1	荒木自治会	山田　利孝	伝統文化保存継承活動事業	伝統文化である「巫女舞」や「ねつ送り祭り」を伝承するため「伝統文化巫女舞教室」や「伝統文化ねつ送り祭り教室」などの開催
4	城端	1	塔尾地区	中島　芳男	歴史遺産活用の地域づくり事業	地域資源である中世寺院遺跡の長福寺（現専徳寺）を中心に、その歴史的価値の調査及び報告書作成、史跡看板作成
5	城端	1	金戸地区	朝日　勝彦	ふるさとづくり隊事業	地域資源を活かし、村史新聞の発行や植物調査、子ども会による石仏調査など
6	城端	1	野田自治会	勇﨑　晃	住みよい地域（野田）づくり事業	地域のコミュニケーションを図るため「野田フェスティバル」など全住民参加の地域イベントの開催や緊急連絡体制の整備など
7	福光	1	田中自治会	溝口　敏博	伝統継承とセーフティ田中構築事業	田中自治会自主防災組織の充実と防災必需品の確保
8	福光	1	祖谷自治会	渡辺　敏孝	景観の美化・整備と世代間交流による地域活性化事業	自治会住民が参加し、休耕田で「ひまわり」を栽培。「ひまわり油」を地域産品として販売し地域の活性化を図る
9	井波	1	三日町町内会	鴨野　一夫	三日町まちづくり事業	地域資源である伝統施設「黒髪庵」「芭蕉公園」などを中心に、清掃活動や「灯アート」の行燈イベントなどの開催
10	福光	1	竹林北島自治会	江田　久嗣	環境保全・美化による地域活性化の構築事業	高齢者も参加しやすい軽作業を中心として「枝豆」の栽培、出荷を行い、また、地域の草刈りなどの環境整備を実施。

（平成23年度採択：H23～26）

No.	地域	校正自治会数	実施団体名	申請者名	事　業　名	主な活動内容
1	福光	5	ちびっ子百姓　DNA3継承ネット	伊東　誠司	ちびっ子百姓DNA3継承ネット	高齢者の知恵と技術を伝承するため、三世代交流事業として稲や野菜づくり、収穫際などのイベントの開催
2	井波	1	上新町町内会	横山　幹	響け！子供祭り囃子	上新町屋台の伝統文化を伝承するため、子ども祭り囃子の制作、指導、和楽器のレンタルや購入など
3	城端	1	野口集落	山本　誠一	都市住民との交流による地域力向上事業	地域資源である「野口向野エドヒガン桜」の保全や特産の「干柿」を使用した商品開発、地域内のサイン看板の設置など
4	福野	1	野新地区	橋爪　忠則	田祭りの伝統継承と地域活性	田祭りの「夜高太鼓」の伝統継承と地域住民の参加を目標として、武者絵教室の開催や田楽製作を実施
5	城端	1	西明自治会	中森　俊夫	梅の栽培と特産化	高齢者も参加しやすいよう「梅の栽培と特産化」のため、商品開発のための研修会や体験会を実施
6	福野	1	柴田屋自治会	宮田　一男	柴田屋あおぞら事業	地域住民同士のコミュニケーション向上を目指し、畑共同作業や稲刈り体験などの農業体験、収穫際などを開催

（平成24年度採択：H24～27）

No.	地域	校正自治会数	実施団体名	代表者名	事　業　名	主な活動内容
1	福野	1	南砺市高堀自治会	浦嶋　健一	愛と絆・全員参加で創るキラリ高堀！！	振興住宅への転入者とのコミュニケーションを図るため、地域一丸となり蕎麦栽培や田んぼにお絵かき、花街道の整備、地域内看板設置など実施
2	井波	1	連代寺集落	箭原　重徳	世代間交流事業	集落住民全員を目標とし、児童会、老人会など各種団体と連携しながら蕎麦栽培や花壇の整備を実施
3	城端	1	東新田町内会	石崎　宣雄	東新田むぎや祭りを通じた伝統文化の薫るまちづくり事業	「むぎや祭り」後継者育成プログラムを発足し、町内外から踊り手の募集、各種イベントの参加・慰問訪問・出前演奏など積極的に情報発信を実施

（平成25年度採択：H25～28）

No.	地域	校正自治会数	実施団体名	代表者名	事　業　名	主な活動内容
1	城端	1	是安自治振興会	伊東　幸一	ウエルカム　トゥ　是安、にぎわい事業	「伝統文化保全委員会」を設立し、地域全員参加及び隣接自治会の参加も含め地域伝統行事や農業体験などを開催し、地域の活性化を目指す
2	城端	1	南砺市理休地区自治会	湯浅　健一	そばと水車のコラボレーション事業	地区のシンボルである「水車」と「そば」を通して地区住民が楽しく参加できる事業（蕎麦栽培や水車からくりコンテストなど）を実施

（平成26年度採択：H25～28）

No.	地域	校正自治会数	実施団体名	代表者名	事　業　名	主な活動内容
1	福野	1	浦町三区自治振興会	村澤　修一	世代間交流のきっかけづくり事業	「伝統文化保全委員会」を設立し、地域全員参加及び隣接自治会の参加も含め地域伝統行事や農業体験などを開催し、地域の活性化を目指す

合計　31　　44